

**令和6年4月以降の新型コロナワクチン  
定期接種移行についての課題  
—高齢者等感染弱者担当の視点から—**

東京都医師会副会長  
平川 博之

〈新型コロナワクチン接種をご希望の方へ〉



新型コロナワクチンの全額公費による接種は

**令和6年3月31日で終了します**

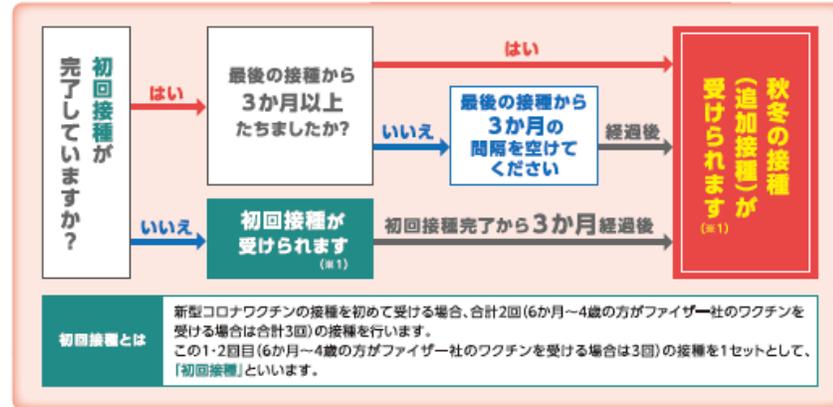


オミクロン株 (XBB.1.5) 対応ワクチンの接種対象とワクチンの種類

- **令和5年9月20日以降、生後6か月以上のすべての方に対して、**新型コロナのオミクロン株 (XBB.1.5) に対応した1価ワクチン (XBB.1.5 対応ワクチン) の接種が始まりました。
- **新型コロナワクチンの全額公費による接種は、初回接種、秋冬の接種ともに令和6年3月31日で終了します。**接種をご希望の方は、期間内に余裕を持って受けてください。
- **令和6年4月1日以降は、65歳以上の方および60～64歳で対象となる方** (※) には、秋冬に自治体による定期接種が行われます。また、任意接種として、時期を問わず自費で接種していただけます。

(※) 60～64歳で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス (HIV) による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

〈接種対象となる方と接種間隔〉



初回接種とは  
新型コロナワクチンの接種を初めて受ける場合、合計2回(6か月～4歳の方がファイザー社のワクチンを受ける場合は合計3回)の接種を行います。この1・2回目(6か月～4歳の方がファイザー社のワクチンを受ける場合は3回)の接種を1セットとして、「初回接種」といいます。

〈接種に使用するワクチン〉(※2)

	初回接種		秋冬の接種(追加接種)		
	モデルナ社 [XBB.1.5]	ファイザー社 [XBB.1.5]	モデルナ社 [XBB.1.5]	ファイザー社 [XBB.1.5]	第一三共社 [XBB.1.5]
6か月～4歳	○ 5歳まで	○	—	○	—
5～11歳	○ 6歳以上	○	○ 6歳以上	○	—
12歳以上	○	○	○	○	○

注：接種証明などについては、お住まいの市町村にお問い合わせください。  
(※1) 秋冬の接種は一人1回受けられます。(※2) 武田社(ノババックス)のワクチンは、令和5年12月25日をもって接種が終了しました。

# 令和6年（2024年）度から新型コロナワクチンの接種は定期接種に位置づけられ、65歳以上の高齢者等の方が接種の対象となる。

令和6年度以降の新型コロナワクチンの接種は、個人の重症化予防により重症者を減らすことを目的とし、**定期接種（B類）**として実施することとなる。

## 定期接種の対象者は以下の者。

- ・ 65歳以上の者
- ・ 60歳から64歳までの一定の基礎疾患（※）を有する者  
※心臓や腎臓、呼吸器の機能の障害があり身の回りの生活を極度に制限される方や、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり日常生活がほとんど不可能な方。インフルエンザワクチンの定期接種の対象者と同様。
- ・ 定期接種のスケジュールは、感染症の状況やワクチンの有効性に関するデータを踏まえ、**毎年秋冬に1回**行うこととする。
- ・ 定期接種の対象者以外の者や、定期接種のタイミング以外で接種する場合には、任意接種としてワクチンの接種を受けることができる。

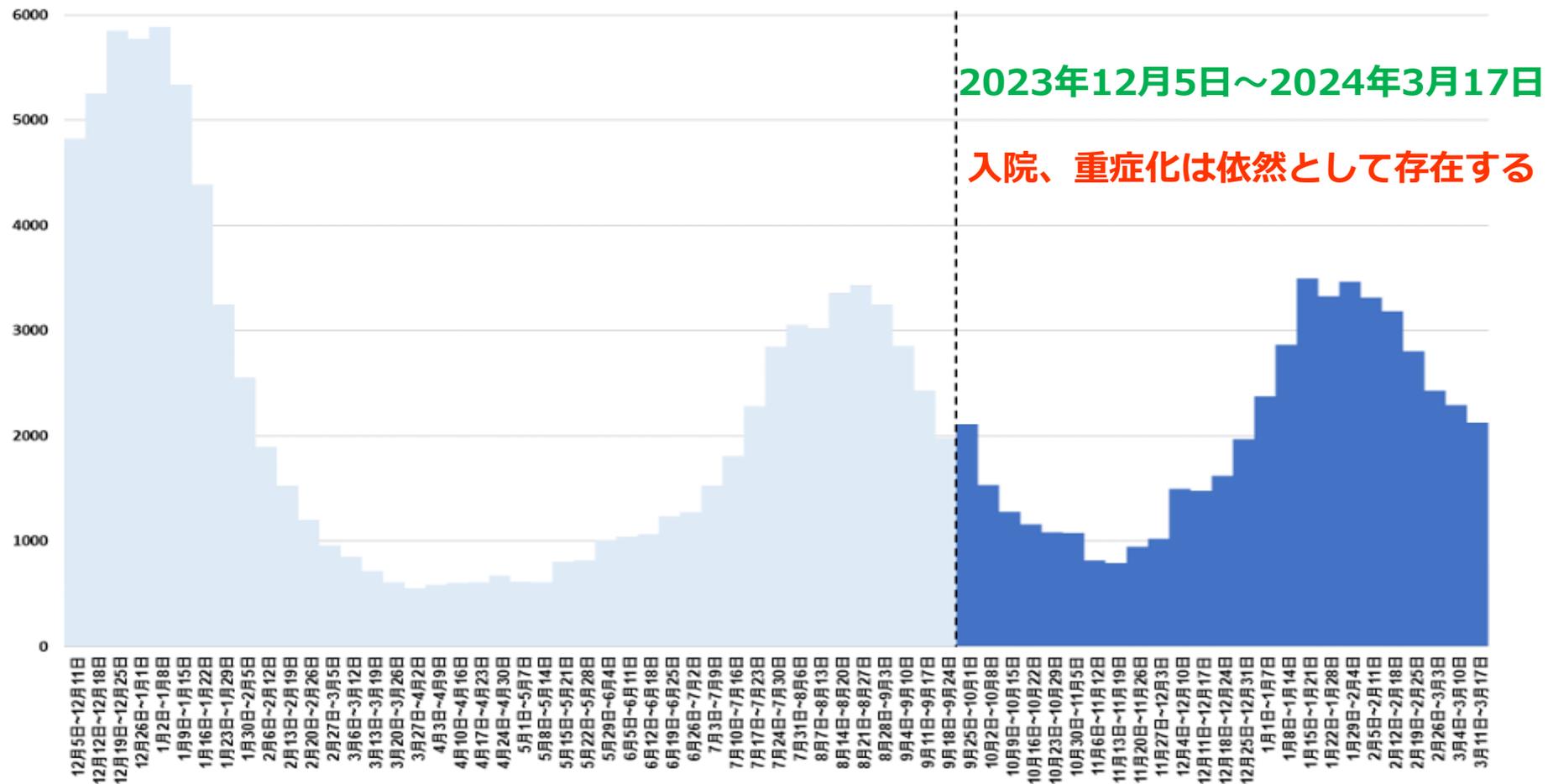
# 全額公費による接種は令和6年3月末で終了し、令和6年4月以降の接種は原則有料となる。

- 新型コロナワクチンの全額公費による接種は、令和6年3月31日で終了。
- 令和6年4月1日以降、65歳以上の者及び60歳から64歳で対象となる者（※）には、新型コロナの重症化予防を目的として秋冬に自治体による定期接種が行われ、各自治体において設定した**自己負担額**がかかる。  
（低所得者を除く）
- 接種を受ける努力義務や自治体からの接種勧奨の規定はない。
- 令和6年4月1日以降に定期接種以外で接種を希望される者には、任意接種として、**自費**で接種を受けることになる。

# 新型コロナウイルス感染による入院の波（厚生労働省公表データ）

## 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による入院患者の概況（第11週）

### 新型コロナウイルス感染症入院患者数の推移



※9月24日以前の数値は、G-MISデータに基づく定点医療機関における新規入院患者数(参考値)である。

※G-MISに入力されたデータのうち、令和5年9月25日時点で各自治体が指定した基幹定点のリストに基づき抽出したデータを集計したものであるが、定点は、地域の実情に応じて、変更される可能性がある。

# 新型コロナウイルスによる入院者数 (厚生労働省公表データ)

2024年1月～3月17日時点

## (1)入院患者の届出数

期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計 <sup>※1</sup>
入院患者数 <sup>※1</sup>	15,516	11,721	4,415					31,652
年齢別内訳	1歳未満	494	332	115				941
	1～4歳	296	239	93				628
	5～9歳	183	156	65				404
	10～14歳	98	67	19				184
	15～19歳	72	52	28				152
	20～29歳	189	136	66				391
	30～39歳	293	236	73				602
	40～49歳	385	304	105				794
	50～59歳	772	575	209				1,556
	60～69歳	1,433	1,155	447				3,035
70～79歳	3,664	2,760	1,040				7,464	
80歳以上	7,637	5,709	2,155				15,501	

**入院者の8割は高齢者が占める**

# 新型コロナウイルスによるICU・人工呼吸器利用者（厚生労働省公表データ）

2024年1月～3月17日時点

## (2)入院時の状況

期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計※2
ICU入室	653	562	222					1,437
人工呼吸器の利用	250	228	92					570
いずれにも該当せず	14,780	11,072	4,160					30,012
計※2 (一部重複あり)	15,683	11,862	4,474					32,019

## (3)入院時の状況と年齢別内訳の累計

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計※2
ICU入室	19	19	15	6	11	14	23	47	117	236	381	549	1,437
人工呼吸器の利用	10	10	10	5	4	6	14	19	45	93	171	183	570
いずれにも該当せず	918	604	384	177	140	375	574	740	1,427	2,777	7,035	14,861	30,012
計※2 (一部重複あり)	947	633	409	188	155	395	611	806	1,589	3,106	7,587	15,593	32,019

※1 基幹定点医療機関(約500力所)からのCOVID-19による入院患者の届出数

※2 令和6年1月1日以降に入院した各患者の累計数(入院日を登録)

**ICU入室・人工呼吸器利用も、高齢者が多い**

# 新型コロナウイルスワクチン3回以上接種の有効性について

新型コロナウイルスワクチンの重症化予防効果を検討した症例対照研究暫定報告：デルタ流行期～オミクロン流行初期の有効性

表4. 新型コロナウイルスワクチンの重症化予防効果  
(暫定値、十分なサンプルサイズのあるカテゴリーのみ)

2023年4月28日  
国立感染症研究所  
NPO法人 日本ECMOnet

時期・アウトカム・ワクチン接種歴	有効率 (%) (95%信頼区間)
<b>デルタ流行期</b>	
呼吸不全を伴う COVID-19 肺炎に対する 2 回接種後 14 日-6 ヶ月の有効性	96.0 (90.1-98.4)
人工呼吸器を要する COVID-19 肺炎に対する 2 回接種後 14 日-6 ヶ月の有効性*	99.9 (98.5-100.0)
<b>オミクロン流行初期 (BA.1/BA.2 流行期)</b>	
呼吸不全を伴う COVID-19 肺炎に対する 2 回接種後 6 ヶ月以降の有効性	42.2 (-19.3-72.0)
呼吸不全を伴う COVID-19 肺炎に対する 3 回接種後 14 日-6 ヶ月の有効性	85.6 (68.1-93.5)
人工呼吸器を要する COVID-19 肺炎に対する 2 回接種後 6 ヶ月以降の有効性*	91.6 (37.3-98.9)
人工呼吸器を要する COVID-19 肺炎に対する 3 回接種後 14 日-6 ヶ月の有効性*	99.6 (93.1-100.0)

\* サンプルサイズの制約から、sparse data bias等モデルによるバイアスの影響もあり得るので解釈に注意が必要

**オミクロン流行初期における3回接種の高い重症化予防効果**

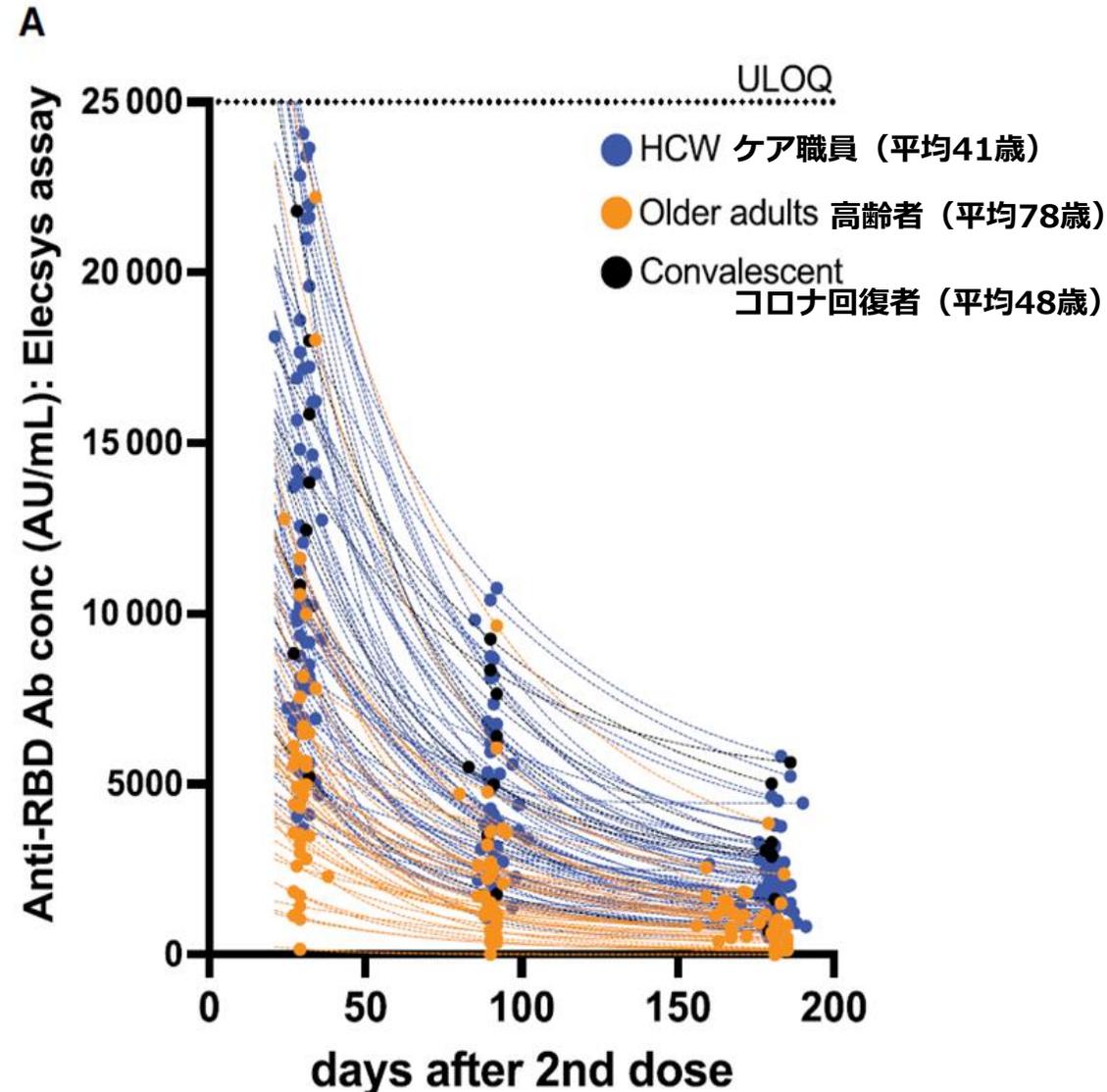
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2484-idsc/12019-covid19-9999-2.html>

# 本邦の新型コロナワクチン接種率

## 接種回数別の内訳※4

	全体							
			うち高齢者※3		うち小児接種※5		うち乳幼児接種※6	
	回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率	回数	接種率
総接種回数	436,018,375	—	193,428,552	—	4,539,235	—	556,967	—
うち1回目接種	104,751,770	80.5%	33,398,949	93.1%	1,769,985	24.5%	193,197	4.5%
うち2回目接種	103,462,870	79.5%	33,324,395	92.9%	1,715,907	23.8%	179,609	4.2%
うち3回目接種	86,693,349	67.1%	32,997,847	91.9%	735,576	10.2%	143,407	3.4%
うち4回目接種以上	141,110,386	—	93,707,361	—	317,767	—		

# 新型コロナウイルスワクチン接種後の抗体価の推移



本報告は3回目接種で抗体価上昇を確認

**高齢者の抗体価は若年者より低く、減衰も速い**

# 各国の高齢者等に対する新型コロナワクチンの推奨回数

国	年間の接種推奨回数	接種推奨頻度に関する説明
アメリカ	2回以上	65歳以上の健康な個体は最後のCOVID-19ワクチンから少なくとも4ヶ月後、免疫不全個体はCOVID-19から少なくとも3ヶ月後に追加接種
イギリス	2回以上	2024年春に75歳以上の成人、高齢者向けケアホームの居住者、6ヶ月以上で免疫不全の個人にワクチンを提供
オーストラリア	2回以上	75歳以上の成人は6ヶ月ごとに接種。65-74歳、または重度の免疫不全を持つ18-64歳は追加接種を検討可（医療提供者と相談）
カナダ	2回以上	65歳以上、高齢者向け集合住宅の居住者、重度の免疫不全を持つ6ヶ月以上の個人に追加接種推奨
韓国	2回以上	2024年上半期のワクチン計画（4月15日開始）。5歳以上の免疫不全者と65歳以上の個人。XBB.1.5ワクチンは最後の接種日から3ヶ月後
シンガポール	2回以上	2024年の更新ワクチンの追加接種を推奨。最後の接種から約1年後（早くても5ヶ月後）。60歳以上、医療的に脆弱な個体、高齢者施設の居住者に推奨。6ヶ月以上の個体、特に医療従事者、医療的に脆弱な個体の家族や介護者に奨励
台湾	2回以上	65歳以上の人々、6ヶ月以上の免疫不全または低免疫症患者（がん治療中の患者、臓器移植/幹細胞移植患者、重度の原発性免疫不全症患者、透析患者、HIV感染者、免疫抑制剤を使用中の患者、過去6ヶ月以内に化学療法や放射線治療を受けた患者など）に対し、医師の判断で免疫不全または低免疫と評価された患者に接種を推奨
香港	2回以上	高リスク群は前回の接種または感染から6ヶ月後にXBB.1.5ワクチンの1回接種を推奨。50歳以上の居住者、18-49歳の基礎疾患患者、6ヶ月以上の免疫不全者、妊婦、医療従事者が対象
日本	1回	65歳以上の方、60～64歳で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に障害があり、身の回りの生活が極度に制限される方、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

Australian Technical Advisory Group on Immunisation (ATAGI) Update on the COVID-19 Vaccination Program <https://www.health.gov.au/resources/publications/atagi-statement-on-the-administration-of-covid-19-vaccines-in-2024?language=en> (update February 2024); Government of Canada. Guidance on an additional dose of COVID-19 vaccines in the spring for individuals at high risk of severe illness due to COVID-19. <https://www.canada.ca/en/public-health/services/publications/vaccines-immunization/national-advisory-committee-immunization-guidance-additional-dose-covid-19-vaccines-spring-2024-individuals-high-risk-severe-illness-due-covid-19.html#> [updated 12 January 2024]; <https://www.cdc.gov/vaccines/acip/recommendations.html>; <https://www.gov.uk/government/publications/covid-19-spring-2024-and-future-vaccination-programmes-jcvi-advice-4-december-2023/jcvi-statement-on-covid-19-vaccination-in-spring-2024-and-considerations-on-future-covid-19-vaccination-4-december-2023> [updated February 2024].; [https://www.kdca.go.kr/board/board.es?mid=a20501010000&bid=0015&list\\_no=724871&cg\\_code=&act=view&nPage=1](https://www.kdca.go.kr/board/board.es?mid=a20501010000&bid=0015&list_no=724871&cg_code=&act=view&nPage=1); [https://www.chp.gov.hk/files/pdf/poster\\_recommend\\_dose.pdf](https://www.chp.gov.hk/files/pdf/poster_recommend_dose.pdf); <https://www.moh.gov.sg/news-highlights/details/integrating-our-covid-19-response-protocols-into-our-broader-public-health-programmes>; <https://www.cdc.gov.tw/Bulletin/Detail/uTzwmQGkntnJA0cQ69pxvw?typeid=9>

# 結 語

- 令和6年4月から新型コロナワクチンの接種は個人の重症化予防のため定期接種B類に位置づけられ、65歳以上の高齢者等の者を接種対象に毎年秋冬に1回行う。
- 全額公費による接種は令和6年3月末で終了し、令和6年4月以降の接種は原則有料となる。
- 直近の2023年12月5日～2024年3月17日でも入院・重症者は依然として存在する。入院者の8割は高齢者が占める。
- ワクチンには高い重症化予防効果があると考えられており追加接種が有効な手段である。
- 我が国の高齢者のワクチン接種率は高く、死亡者数、死亡率の低減要因になっていると推察される。
- 高齢者の抗体価は若年者より低く、減衰も速いためワクチン接種間隔は留意すべきである。諸外国が年2回接種を推奨する中、年1回の接種で良いのか。
- ワクチン接種が有償となったことで接種率が低下する心配がある。高齢者等の感染弱者に対しては、上乘せする公的な支援が必要ではないか。
- 感染ピーク時に有効活用された「高齢者等医療支援型施設」を縮小しつつも継続。ないし、必要時に速やかに再開できる体制を準備していただきたい。